

わんわん忠臣蔵 (1963)

メディア 映画 アニメ

ジャンル ファミリー 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 82分

初公開日 1963/12/21

【解説】

東映長編漫画映画の第7作。ディズニーの「わんわん物語」「101匹わんちゃん大行進」を意識して作られた作品だが、忠臣蔵をベースにした仇討ちものという日本人好みのアレンジになっている。原案は手塚治虫。子犬ロックの母親シロが森のギャング・虎のキラーに卑怯な手段で殺されてしまう。幼いロックは一匹でキラーに立ち向かうが、危うく命を落すところを森の仲間たちに救われる。山を下り町で暮らすことになったロックは、じきに町ののら犬たちに一目置かれるようになっていった。しかし、これを知ったキラーの手下、キツネの赤耳は策略を用いてロックを倉庫に閉じ込め、倉庫荒しの犯人に仕立て上げてしまう。倉庫番に捕まったロックは、樽に入れられて海に投げ込まれピンチにおちいる。そして森の動物たちは人間の山狩りにあってみんな動物園に入れられてしまう。獲物のいなくなったキラーは赤耳のすすめに従って自ら動物園に入る。動物園の中でも動物たちは、キラーと赤耳に苦しめられるのだが…。少女に助けられ、町に戻ってきたロックは47匹の犬と共にキラー退治に立ち上がる。

【クレジット】

演出	白川大作
監修	山本早苗 藪下泰司
製作	大川博
企画	吉田信 渾大坊五郎 飯島敬
構成	手塚治虫 Osamu Tezuka
原案	手塚治虫 Osamu Tezuka
脚本	飯島敬 白川大作
作画監督	大工原章
原画	熊川正雄 森康二 楠部大吉郎 奥山玲子 喜多真佐武 勝井千賀雄 彦根範夫 小田部羊一
動画	宮崎駿
撮影	杉山健児

美術	吉村次郎	
	鳥居塚誠一	
編集	沼井肇	
	稲葉郁三	
音楽	渡辺浦人	
タイトルデザイン	児玉喬夫	
声の出演	堀絢子	日本犬ロック（幼年・少年時代）
	木下秀雄	日本犬ロック（青年時代）
	水木蘭子	シロ（ロックの母）
	北川まり	カルー
	佐藤英夫	ゴロ（野良犬の大將）
	梅津栄	ヌキ太（狸）
	西村晃	キラー
	加茂喜久	赤耳
	伊藤牧子	ラビ（子兎）
	芳川和子	ロン（子鹿）
	山本喜代子	リマ（子リス）
	花沢徳衛	野良犬A
	海野かつを	野良犬B
	西桂太	野良犬C
	永山一郎	ライオン／象／ゴリラ／ヒョウ（キラーの用心棒の猛獣）
	中川謙一	ライオン／象／ゴリラ／ヒョウ（キラーの用心棒の猛獣）
	大村文武	
本間千代子		